

素顔よこ顔

サウンド藤和 会長 斉藤 隆さん

1



プロフィール

さいとう・たかし

昭和 29 年、錦町生まれ。東京の中堅ゼネコンなどを経て、平成 3 年に建設会社を起業。同 24 年に長男・和治さんが社長に就任し、自身は会長職に。

鮫川河川敷公園管理運営協議会会長、國魂神社総代会会長・責任役員、保護司会錦支部保護司、民生委員勿来支部副会長など、役職多数

一生懸命にやるだけ

昨年は剣道六段に挑み合格

地元根差した総合建設業として、今年で創業三十二年を迎えるサウンド藤和とうわ。創業者で会長の斉藤隆さん（六八）は、「人に支えられてここまで来られた」と振り返る。昨年は剣道で六段を取得。また、鮫川河川敷公園Ⅱ植田町Ⅱの管理運営協議会会長などでも活躍。「一生懸命やってみようですね」と語る横顔には、生来の真面目さが見える。

役職は「受けちやう」

地域活動など多方面で活躍

▽社名の由来を

▼平成三年の創業時は「藤和興業」。三年後に法人化し、現社名に。自分の名前を使うのが嫌で、苗字から「藤」を、長男（現社長）の名前「和治（かずじ）」から「和」を取りました。同二十四年に株式会社化しました。

▽サウンドというのは？

▼「故郷に音を響かせる」との思いを込めました。こんな社名、当時の福島、いわきにはなかったですね。

▽起業のきっかけは

▼兄の勧めです。実家は土木会社をしていたのですが、私は高校卒業後、東京の中堅ゼネコンに入社しました。しかし二十歳の時に母親が亡くなり、家業を継いだ長男から「戻ってこないか」と。二十八歳ごろに家業に入ったのですが、状況が難しくなっ

て。

▽なぜ東京に

▼高校進学時、どうしても建築がやりたかったため、父の縁で、東京のゼネコンに入社するという条件のもと、都立工業高の建築科に入学したんです。

▽東京時代、特別な思い出は

▼同期や先輩に勝てるものを考えました。それで、朝一番に現場に行くしかないと思いました。寮から直行、直帰の毎日です。だから、十八歳から今まで朝食は食べていません。

▼今でも早起きは続いてますか

▼午前三時か四時には起きます。体内時計かな。パソコンを学んだ時は、午前一時にも出勤していましたね。楽しんで仕方なかった。

▽そんな中で剣道を続けていたんですか

▼始めたのは中学時代。強くなりたかった一心で練習し、高校時代には都大会で二回優勝。当時は朝の二時から、足腰を鍛えるために築地でアルバイトをしていました。



長男で社長の和治さんと業務について話し合う齊藤さん
(左から2番目)

▽地元に戻ってからは
▼勿来剣道スポーツ少年団で教えました。月、火、木、金、土曜の夜です。方針は、基本から教えること。ただ、自分には子供たちを怒って指導することができません。「ピエロがいないとかわいそうだっぺ」と思っ

▼昨年、剣道六段に合格されましたね
▼何を目標にすべきかと考え、受審しました。合格して思ったのは、「上があるなら上を目指さないとダメ」ということ。目線が上がります。
▽同公園管理運営協議会の会長も務められていますね
▼剣道で中学の時から付き合いのあった間宮先輩（間宮俊彦さん・九十六歳で昨年十一月に他界。元県剣道連盟副会長、元いわき市長）から

（強引に）会長職を打診され、引き受けました。平成二十二年からです。

▽現在、主な活動は
▼環境管理と河川敷貸し出しの窓口事業。六月と十月の全体清掃の際は、地元の企業、団体、学校から二百人もの方々が参加してくれます。



鮫川河川敷公園でハロウィン用のカボチャを育て、贈る活動も

▽保護司や総代なども引き受けていますか？

▼頼まれると受けちゃうんですよね。やるだけ一生懸命やってみようですよ。

▽大変でしょうね

▼そう思ったことはないです。自分は人より劣っていて、努力しないとついていけないと考えていますし。そう言えば、東京時代の先輩から「いつでも、どこでも、誰でもできることをするな」と言われて、今も頭に残っています。人生は出会いですよ。間宮先輩らともそう。人に支えられ、守られ、背中を押されてきた。今の若い人たちも立派だけれど、今度は私たちが支えてあげないといけないですね。

ひと言

「五十代を過ぎてから、相手の年齢がどうあれ『さん』付けて呼ぶんです」と話し、丁寧に語ってくれた齊藤さん。口ぶりなどから、人を大切にしようとする思いが伝

わってきた。また、引き受けたいさまざまな地域の役職に対し、誠実に向き合う姿勢も印象的だった。若い頃から励む剣道の取り組みも含め、そこに貫かれているのは「真面目さ」。だからこそ、多くの人たちから頼られるのだろう。

（鷹）

就職に強い!! 「コンカレ」

未来へ飛べ! Fly to the future!

高い就職率! 平成25~令和3年度は9年連続で100%!

先端教材多数!!

ロボット教材



NAO ヒューマノイドロボット

ドローン



Phantom 4 Pro+

最新のコンピュータシステムや、先端教材を使って技術を身に付けられます!(ヒューマノイドAIロボット、IoTデバイス、ドローン、MR、3Dスキャナ、レーザー加工機など)

オープンキャンパス開催

いわきコンピュータ・カレッジに興味のある方誰でも参加OK。

■参加特典

入学試験受験料10,000円を免除

■期日 2月25日(土)

■時間 9:00~12:00

■内容 校内見学・体験学習 進学相談

卒業研究展示会

2月19日(日)に、LATOVにて卒業研究成果物を体験・展示予定。

入試日程 ■今年度、最後の試験です

募集区分	出願期間	試験日
特待生入学募集(第2回)	1月30日(月)~3月8日(水)	3月16日(木)
第5期募集(指定校推薦・推薦・一般)		
社会人対象(推薦入試・一般入試)	随時受付	随時実施

※受験料免除

いわきコンピュータ・カレッジ

〒971-8185 福島県いわき市泉町4-13-12 E-mail info@iwaki-cc.ac.jp

いわきコンピュータ・カレッジは、厚生労働省が情報処理技術者の養成を目的として全国に設置したカレッジのひとつです。地域の産業を支える情報技術者を養成する施設として平成3年4月に開校いたしました。理事長は、いわき市長です。卒業生1,500人以上が地域で活躍しています。

コンカレホームページ

